レッスン：SPA　91

テーマ：ステーション/シンボル

SPA 91 KE01/25/4/01

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

過去のレッスンで説明したように、創造における法則は人間のイデアに特定の能力を与えています。そしてそれらの能力とは、まずLifeからの微細なスパーク、つまり魂のセルフエピグノシスが制限ある現れのなかに入ることができるように助けることです。そして、既に述べていますが、その理由とは、それによってディバインの仕事が達成されるようにです。ディバインの仕事とは何でしょうか？それによって多重性のなかにおいて（多重性というとき、それは絶対存在のワンネスの多重性です）、モナドセルフがそのモナドセルフの自己実現に到達することです。

ですから、それらの潜在的可能性があり、それらはセルフエピグノシスのなかにあります。それは前に述べたように、人間のイデアだけに与えられています。

**このセルフエピグノシスはLife それ自体の中の質です。**

勿論、それはまたイデアにも与えられています。それを私たちは絶対存在の「ダイナミックな現れ」と呼びました。それは聖霊のイデアなのですが、違いは聖霊のイデアにおけるセルフエピグノシスは各アークエンジェルのオーダーのためにプログラムされていることです。

　人間のイデアのセルフエピグノシスには、創造の諸世界で何であれ魂ができることならそこには限界はありません。

自己実現した（人間ではなく）魂のセルフエピグノシスは他の全てのアークエンジェルのオーダーがしていることならなんでもでき、それ以上のこともできます。なぜなら、そのセルフエピグノシスには何も限界がないからです。

　さて、人間のイデアに与えられたそれらの能力は、魂からの微細なスパークが限界ある現れのなかに入るのを助けるのみならず、現在のパーソナリティーがそれらの限界から脱出する、それらの制限、限界を除去するのを助けることです。そして説明したように、現在のパーソナリティーの異なった様々な潜在的可能性のサイクルのなかには様々な助けがあります。それらの助けは現在のパーソナリティーに様々なシンボルとして与えられています。

　２次元のシンボル、３次元のシンボルがあります；勿論、私たちは３次元の諸世界に住んでいるので、様々なピラミッドを使っているのです。実際、３次元は４次元、５次元といった他の次元の影なのです。

　さて、様々な潜在的可能性のサイクルによって与えられる助けの他に、Life それ自体から与えられる14芒星があります。そしてLife それ自体と言う時、あなたは何を理解しますか？どのLifeですか？各現在のパーソナリティーを活性化するスパークです。なぜなら、そのスパークは決して現れの限界のなかには入らないからです。そのスパークは純粋なまま留まります。しかし、それ自身を表現しません、ただ現在のパーソナリティー（それは思考・行動の仕方以外の何ものでもありませんが）を活性化するだけです。そして勿論、

現在のパーソナリティーが受け入れるあらゆる努力とは、スパークと一つになることです。つまり神とです。なぜならスパークとは神だからです。Life は常にLife です。Life を変えることはできません、Life からの微細なスパークですらLife なのです。

Life、そこには全体のあらゆる特質があります。絶対存在のワンネスの特質すらあります。ですから神は全ての人のなかに存在し、一人ぼっちの人など一人もいません。

　さて14芒星は、現在のパーソナリティーが初めての転生から最後の転生までに経なければならない道を提供します。それは全ての人間にとって同じです。そして私が道というとき、全ての人間、全ての現在のパーソナリティーが同じ体験を経るということではありません。しかし、全ての人間が同じ梯子を昇らねばならないのです。

Page 2

どのようにして昇るのでしょうか？それは人によります。ある人々は一段上るのにたくさんの転生を重ねるかもしれません、道の各ステーションはゴルゴダに向かっているからです。ですからこの14芒星は助けではなく、各現在のパーソナリティーが通過しなければならない様々なステーションを示しているのです。これらのステーションをイニシエーションと混同しないでください。しかし、確かにそれらは、あるイニシエーションに導くでしょう…ある潜在的可能性のサイクルをマスターした後には。

　説明したように、潜在的可能性の各サイクルにはそれ自体のゴルゴダがあります。ですから最初のサイクルの14のステーション、2番目のサイクルの14のステーション等というように。勿論、最初の2つのサイクルにおいては、ゴルゴダは真のゴルゴダの投影の結果です。真のゴルゴダは潜在的可能性の3つめのサイクルから始まります。実際、現在のパーソナリティーが経ているのは影です、それらの様々なステーションのゴルゴダの影です。

真のゴルゴダは現在のパーソナリティーが意識的に生き始めてからスタートします。潜在意識的に生きている時ではありません。

　ですから、道のより高いレベルに足を踏み込んだ結果としてではなくて、潜在的可能性のサイクルをマスターした後に、様々なイニシエーションがあります。それは14芒星によって特定されています；しかし最初のサイクルにおいて14のステップを完了した後、実際にそれはイニシエーションです。

本能的意識のセルフエピグノシスから、人は潜在意識的意識のセルフエピグノシスに入る等と言いました。真のイニシエーションは４プラス１で全部で５つあります。勿論、各サイクルにはマスターする様々なレベルがあり、それらについては将来のレッスンで説明します。

　ですから、様々なシンボルがあり、様々なピラミッドがあります；4面ピラミッドは4つのエレメントを意味し、3面ピラミッドはLife の主な特質を意味し、それは絶対英知、絶対パワー、絶対善です。五面ピラミッドは五感を意味します。

五面ピラミッドは何の結果でしょうか？この助けは現在のパーソナリティーに何を提供するでしょうか？その底面は五芒星の結果です。ですから、五感は人間のイデア・フォームから与えられています。そうであることを考えたことがありますか？実際にそうなのです。

五面ピラミッドは五芒星の結果です。現在のパーソナリティーが4つめのサイクルでこのピラミッドをマスターすると、五芒星は実際にその適切なポジションにあります。勿論、それはある程度それより以前のサイクルでも生じます。ですから、五面ピラミッドは五芒星の結果です。

　他に助けはあるでしょうか？答えはノーです。一面ピラミッドは助けではありません。それは他のシンボル、ピラミッドをマスターした結果としてあるのです。

六芒星に関しては、それは自己実現を意味すると言いました。それは現在のパーソナリティーが到達できる究極の達成です。それはキリスト意識です。六面ピラミッドはありません；ピラミッドは実存の諸世界においては五面ピラミッドまでしかありません。

エクササイズで説明したように、14芒星は太陽神軽叢に根ざしています。そしてそのセンターは肉体の健康を示しています。

ゴルゴダへの道はこのセンターに影響をもたらします；現在のパーソナリティーの思考・行動の仕方は多くのレッスンで述べたように、このセンターに影響をもたらします。それゆえに14芒星はこの位置にあるのです。エクササイズで知っているように、この太陽神経叢には五芒星もあります。

六芒星はハートのセンターに根ざしています；そして三角形、大きな三角形は肩に置かれていて、頭がそのなかに入っています。これらのシンボルは実際に現在のパーソナリティーを構成します。勿論、初めはそれらにはエネルギーはありません。一般の人の肩の上に大きな三角形を見ることはありません。それが起きるのは自己実現、そしてそれより少し前になってからです。つまり4つめのサイクルにおいてです。

Q:色について質問したいのですが。

K:説明したように14芒星の色はシルバーです。五芒星は純白です。さて六芒星は、それはキリスト意識を示しますが、Lifeそれ自体を現し始めるようになる現在のパーソナリティーを意味しています。それは内側にあるLife のスパークと一つになります。そしてそのスパークはLife の海からのもので、それはLifeの海にあります。内側の色はホワイトピンク、そして形を示す線は金色です。

さて、頭の大きな三角形に関しては、それは純粋な金色であり、それは光輪です。それは頭の上にあるのではなく、頭がその中にあるのです。ですから、それらが色です。

Q:2番目のサイクルにおいて、私たちがゴルゴダへの道にあり、14のステーションがあります。もしそれらのステーションを理解するなら、その道を進むプロセスをスピードアップできるでしょうか？

K:ある程度はそう言えます。実際、それはあなた方が行うことです。2番目のサイクルにおける努力とは、あなたが思考・行動の仕方としてスタートする時に認識することです。

Q:しかし、もし2番目のサイクルにおいて意識的でなければ、気づきはどのようにして始まるのですか？

K:このサイクルによって提供される潜在的可能性によって、意識的になります。意識的に生きるのは3番目のサイクルにおいてであり、2番目のサイクルではありません。2番目のサイクルのなかでは、影が作り出すものに近づいていません、まだそれほど近づいていないのです。どんどん近づいていき、最後に14芒星の内側の点に触れます。それらのポイントの影としての投影を経ていきます。内側のポイントと外側のポイントがあります。勿論、もっと苦痛を伴うものとは、それらの影ではなく、肉に触れるものです。勿論、それらはもっと痛みを伴いますが、パーソナリティーは何であれ痛みを創造するものを避けることでしょう。

Q:シンボリズム、リサーチ、構造は、進化するための唯一の方法ですか？

K:潜在的可能性のサイクルは啓発へのプロセスを加速化する可能性を提供します。人間がその恩恵を利用すどうか、それは全く別問題です。そのパーソナリティーがアベニュー（大通り）に入るかどうか。アベニューに入る前には多くの道があり、多くの横道があります。しかし、**一度アベニュー（大通り）に入れば、一つの道しかありません。いいですか、このアベニューに入るのは簡単なことではありません。時代を通じて多くの人間が昇っていき、高い成長レベルに到達しましたが、しかしLifeのアベニューに入ったのは僅かです。現象を起こす能力のある人間たちは大部分マジックを通じてそれを行い、サイコノエティカルな成長の結果ではありませんでした。**

　もしアベニューに入りたければ、サイコノエティカルは進化成長に興味を向けるべきです。私たち常に前を見るべきであり、決して後ろを見るべきではありません。そして各瞬間にベストを尽くす必要があります。

　さて、それらのシンボルですが、それらは潜在的可能性のサイクルによって提供されるものです。それは人間が意味を創造するシンボルを理解する唯一の方法です；私たちは意味の世界に住んでいます。Life それ自体にとっては、それらすべての助けは必要ありません。それら全ての助けは現在のパーソナリティーのためにあるのであり、Life のためではありません。

これら多くのシンボルが、なぜこの地球上で人類の初期の時代からあったかわかりますか？どう思いますか？それらの時代に人間はそれについて知っていたのでしょうか？なぜなら、その時代の人々がそれが一体何を提供するのか認識できなくても、それらは内側から出てきたものだからです。彼らはピラミッドを建設していました。なぜでしょうか？

Page4

　さて、各シンボルはあなたに一体能力として何を提供しているのでしょうか？唯一の目的、それは気づきの上昇を助けることです。現象のために現象を行う能力をあなたに与えるために、あなたはそれらの助けを使用するのではありません。違います。それらはあなたがより良いセルフを現すことができるようになり、その結果他の同胞の人間達をより助けることができるように、です。ですから、それらのシンボルはLife のアベニューに入る人だけが見出すことができ、ドアーはそれ以外の人が開くことはできず、それを行う準備のできた人だけがそれをすることができるのです。

　そうです、過去に皆さんに多くのエクササイズを提供しました；多くの知識を；でもそれは知識であり、もしそれを実践しなければ無用の長物です。エクササイズについても同じことが言えます。多くのエクササイズが提供されました。それらのエクササイズの目的はただ一つ、それによって知識が吸収され、その結果あなたの思考・行動の仕方が変化し、スパークにもっともっと近づくことです。

　もし初めにこの知識なしでワークをし、後にこのリアリティーを（何であれ上にあるもの、下にあるものを）生きるなら、それを認識するためにワークをスタートすることができます。

　まず、この知識は探求者に与えられます。しかし、知識だけ、潜在的可能性の2番目のサイクルにおいても、そしてその後でさえ、上であると見なされているものが実際には下であることを知ることだけでは十分ではありません。実際に体験することです。それによって、五芒星は人間のイデア・フォーム（イデアとしてのフォーム）を象徴する正しい位置に置かれ、真の5つの感覚が意識的に使用されるようになります。それは今人間が使っている感覚ではなく、真の感覚、それは超感覚と呼ばれているものです。しかし、超感覚が本当の感覚なのです。

Q:14芒星は「最も広大なヘブン」(the Widest of Heavens)によって与えられているのですか？

K:Lifeのスパークが14芒星を与えます。それは生まれてくるものではなく、表現されるものです。「最も広大なヘブン」(the Widest of Heavens)、創造界の大いなる母は誕生、現れを与えるLifeの特質と質であり、Lifeがそれ自身の中で表現されるためには大いなる母を通らねばならないのです。

Q:あなたはロゴスですら大いなる母、そのポイントを通らねばならないと言いましたが、それはどちらかと言えば現実というよりむしろ象徴的なことですか？

K:勿論それは象徴的です。なぜなら、生命の木を見ると、汎宇宙的ロゴス的現れの一番大きな部分は、創造界に下降する前の長方形のなかにあります。しかし、そこは現れと創造のための特別な仕事が行われている場所です。「最も広大なヘブン」はそこではじまります。そこは2番目の磔がある場所で、「存在の諸世界」との境界です。そこは現れと創造界より前の世界です。それは生命の木では最初の長方形がそれに相当します。

Q:1番目、および2番目のサイクルの14のステーションについて説明してくれることは可能でしょうか？14芒星の上の7つと下の7つの間の違いを詳しく説明してくれますか？

K:今のところそれは不可能です。近い将来それに関して説明できることを願っています。確かにあらゆるサイクルには下のポイントと上のポイントがあります。7つのステップがあり、さらに７つが残っています。

Page5

ヤコブの梯子は象徴的です。それは何であれあなたの真の本質、Lifeの本質のなかにあるものにあなた自身を同調させ始めることです。あなたは真の本質をより多く現すようになります。そして、そうすることによって、あなたは様々なアークエンジェルのオーダーに接触するのです。なぜなら、それがヤコブの梯子が意味しているものだからです。そのシンボルは進化成長へのアベニュー（大通り）へと導くドアーを開くのを助けるためにあるのです。

　さて現象を行う能力へと導くドアーは実際、人間を地面の下深くへと導くことになります。なぜなら、地のなかにいる影である私たちは地面の上に立っていないからです。私たちはまず最初に地面に正しく立つことを試みるべきであり、そこから真のワークがスタートするのです。

Q:また様々なサイクルにおいて五芒星、六芒星、14芒星があるのですか？

K:そうです。説明したように、何であれあなた方が現在行っていることは、将来もっと意識的に行うようになることの影に過ぎません。そして後になると、何であれあなたが創造するものはあなたにとっての状態となります。それはあなたのために存在し、後になるとあなたが手に触れることのできる現実となります。今のところは、エーテルの特質をマスターするために多くのワークをする必要があり、また現在のパーソナリティーのために提供されている助けを利用してワークする必要があります。それらは何を提供しているのでしょうか？4つのエレメントをもっとマスターすることであり、それが生じるということは、現在のパーソナリティーがもっともっとLife それ自体から現し始めることを意味します。現在のパーソナリティーは現れの限界、現れの境界から自由になり、解放され始めるのです。

Q:それゆえに私たちは今これらのピラミッドの各サイドを築いているのですか？

K:私たちはこれらのピラミッドを使用しています。4面ピラミッドをマスターするためには、三面ピラミッドが与えているものからもっと現す必要があります。そうすることによって、それらのサイクルのなかで5つの真の感覚が提供しているものをより意識的に現すように試みるのです。なぜなら、各サイクルが提供しているものには制限があるからです。それらは一つのサイクルのなかでLife　の全ての特質を提供するわけではありません。次のサイクルはより多くを提供する、というようになります。勿論、ある回数の転生によって潜在的可能性の一つのサイクルをマスターするかどうか、それは現在のパーソナリティー次第ですが。

　実際Life は、もし適切にワークするなら一回の転生においてそのサイクルをマスターする能力を現在のパーソナリティーに与えています。しかし、現在のパーソナリティーとして誰がそれを行うでしょうか？理論的には全ての潜在的可能性がそこにありますが、しかし実際にはそれは不可能です。

Q:それでは現在のパーソナリティーは14芒星については何もできないのですか？そういうことですか？

K：勿論です。

Q:　それは現在のパーソナリティーが思考・行動の仕方を向上させようとする努力、それを記録するだけです。それは14芒星の上に記録されるのでしょうか？それはあるものが他と繋がるようなものでしょうか？もし五感についてワークするなら、あるいは真の感覚をもっと現すなら、それは14芒星に記録されます。なぜなら、それは現在のパーソナリティーの気づきに関係しているからでしょうか？もし、もっと真の本質を表現するなら、それもまた14芒星に記録されるでしょうか？現在のパーソナリティーはそれを変えることはできないのですか？

K:ちがいます。そのパーソナリティーはスピードを加速することができます。どのように加速するでしょうか？14芒星、それは助けではありませんが、それは他の助けと一体になってスピードを加速させるのです。

Q:人がいかにして14芒星を加速させるのかを理解しました。それは一つの構造のようなもので、その上に現在のパーソナリティーが他のシンボルなどにおいて行うことの結果が記録されるのですね；つまりそれは単なる記録ですね。

Page6

K:私たちの努力、それは自分がどこに立っているか、思考・行動の仕方として自分がどこに立っているかを認識することです。気づきのレベルを。もしそれについて考えるなら、14芒星がどのように助けになっているかがわかるでしょう。

Q:それでは、私たちはプロセスをどのようにして加速できるのでしょうか？

K:どのようにして加速するかですか？あなたは今まで何を試みてきましたか？もしそれによって加速されないなら、なぜ真理の探究者になるのでしょう？惑星上にある全ての人間は自己実現に到達することになりますが、しかし、それをプッシュするものがあります。しかし、この地球上において他の人間よりも古い人間たちを加速させるためにプッシュするものがあります。それはその人のためではなく、他の同胞の人間たちのために、その人の成長が加速されるようにプッシュするのです。そのように行われています。

Q:　私はここで実際に立っているところで助けが欲しいと思います。

K:努力すべきこと、それは内側にあるものを現すことであり、それはその現象を活性化します。なぜなら、

**現在のパーソナリティーとはLife の現象以外の何ものでもないからです。それはLifeではありません。努力すべきことは、思考・行動の仕方を変え、気づきのレベルを高めること、常にそれを高めていくことです。**

時間とは意味です。Life の源に戻ること、それは魂のセルフエピグノシスあるいはSpiritでさえあるのですが、それは一つの目盛りですが、私たちはその目盛りのなかでゆっくりとスローテンポで動いています。私たちは非常にゆっくりとしたテンポで進んでいます。しかし、Life にとってはこのように（テーブルを叩いて）もっと速くなっています。ですから、私たちは何をも恐れるべきではなく、（恐れるなら）自分自身の思考・行動の仕方だけであり、神を恐れるべきではありません。神は私たちを裁くことはしません。

EREVNA/SPA91/KE01/A12/01